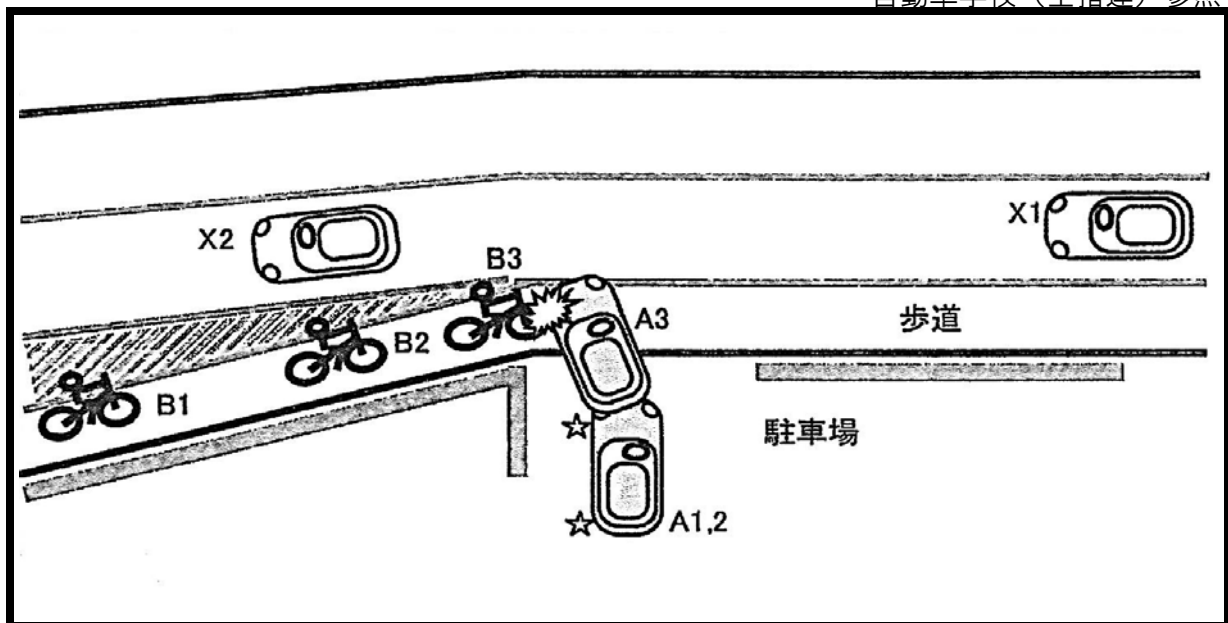


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：出会い頭

発生日時：5月 午後4時頃 晴れ

当事者A：四輪車 40歳代 男性

当事者B：自転車 中学生 女性

■ 事故の概要

Aは時々利用する駐車場から往復2車線道路に左折で入るために左右の確認をしたところ、右方に普通乗用車Xが見えたので、やり過ぎため、少し歩道にはみ出して一旦停止しました。左方にいたBは、ブロック塀の陰になり見えませんでした。

普通乗用車Xが通過したので、左方はさっき確認したという思い込みのため再度の確認をせず発進し、左側の歩道を走ってきたB車と衝突しました。

Bは、毎日通行する歩道上を走行中、右からのA車を発見しましたが、A車が減速し、停止したので、相手もこちらに気づいていると思い、A車の前を通過しようとしたところ、急にA車が発進したので慌ててブレーキを掛けましたが、間に合わず衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Aは、左方向の安全を確認したつもりになり、発進直前の再度の確認をしなかったことが原因です。左折で道路に合流するときは、どうしても右方向からの車に注意がいきがちです。

また、Bは、自分から相手がよく見えているので、相手も自分に気づいてくれていると思い込んでしまいました。

Aのようにボンネットがある車は、その先端が交差点内に出ていても、そこから約1m後ろに位置する運転者には、まだ交差道路の状況は見えていない場合があることを、Bも理解すべきでした。